

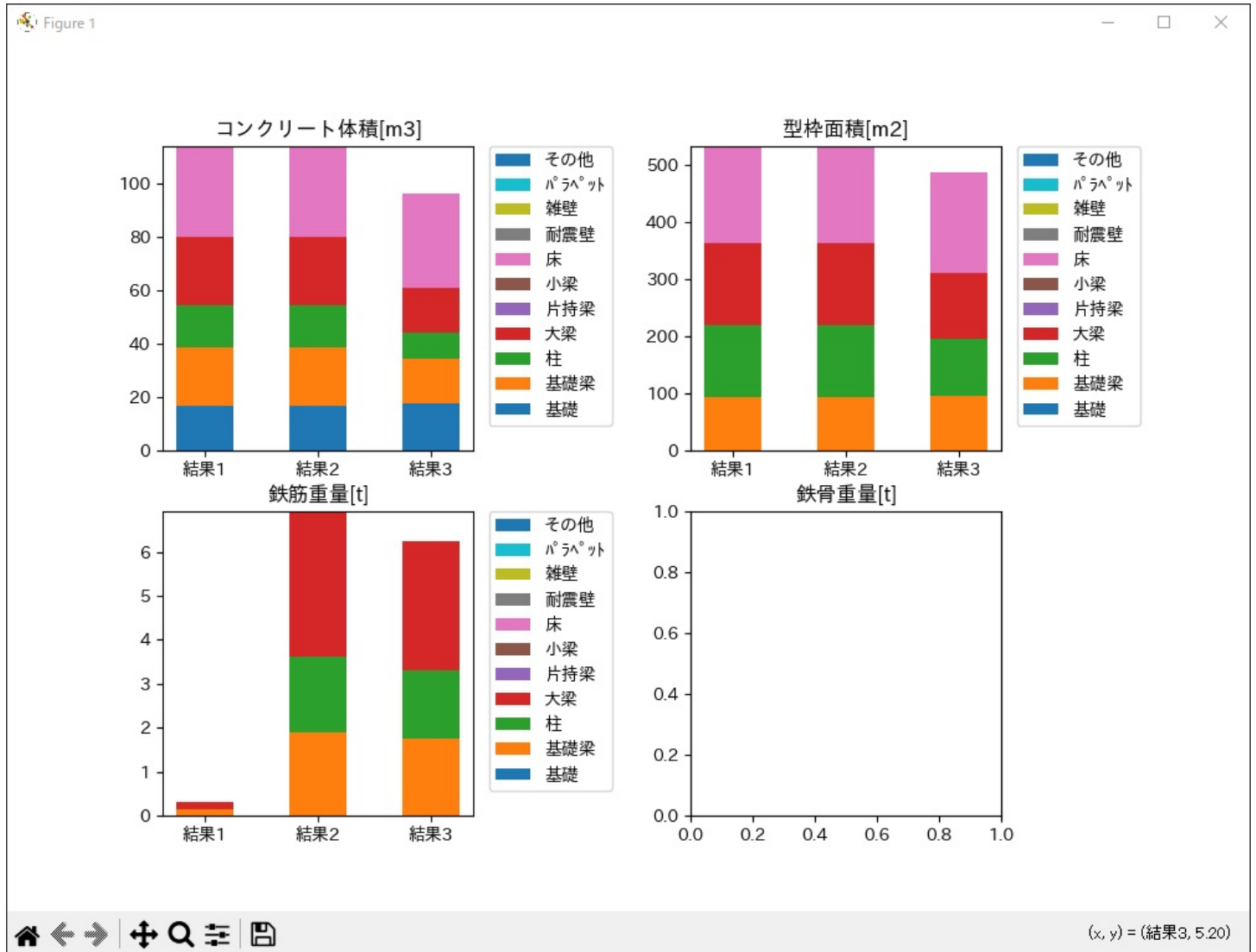
『Op.積算』グラフ比較

本プログラムの説明

『SS7』物件データと結果セットを指定して、コンクリート、型枠、鉄筋、鉄骨をグラフに表示します。

柱、大梁などの部位を色分けして、棒グラフに表示します。

複数の結果を指定すると、各数量のグラフにそれぞれ並べて表示します。



本プログラムの実行方法

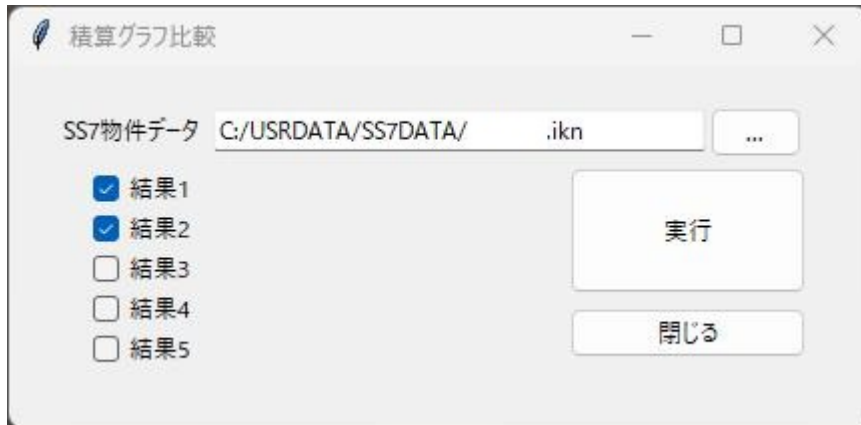
- 任意のフォルダ内に、ソースファイルと『SS7 Op.Python実行』のモジュール群をコピーします。

例) C:\example に入れる場合

- Python実行用コマンドプロンプトから以下のコマンドで実行します。

```
cd /d C:\example\src
python main.py
```

- 以下の入力画面が表示されます。



- [SS7物件データ]にSS7物件データフォルダのパスを入力します。
([...]ボタンをクリックすると、[フォルダの選択]ダイアログが表示されます。)
- グラフを表示する[結果]にチェックを付けます。
- [実行]ボタンを押すと、グラフが表示されます。
- [閉じる]ボタンを押すと、入力画面およびグラフが閉じます。

注意事項

- 本プログラムは『SS7』Ver.1.1.1.19のみで動作するようにしています。

『SS7』のバージョンによって、集計する部位が異なるため、Ver.1.1.1.19に限定しています。
- 積算の結果が無い結果を指定しても、グラフは描画されません。
- 比較できるのは同じ物件内に存在する結果になります。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

1. 『SS7』を起動し、[ツール – 環境設定 – Op.Python実行]画面を表示します。
2. “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
3. デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

必要な外部ライブラリ

以下の外部ライブラリをPython実行環境にインストールしてください。

- pandas 2.2.1

- japanize_matplotlib 1.1.3
- matplotlib 3.8.3

```
pip install pandas
pip install japanize_matplotlib
pip install matplotlib
```

外部ライブラリのライセンスは「LICENSES/ライセンスについて.txt」を確認してください。

著作者

Copyright (C) 2024 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。